

FURUTECH

Review

福田屋 ケーブル / アクセサリー総集編 - JAPAN



フルテックより新型の高品位プラグが登場 その魅力を探る

■RCAプラグ「FT-111」
ケーブル接続まで純銅の一体構造
質感豊かで解像度の高さが魅力

次々と新たなイノベーションを導入してパーツの性能強化に取り組みフルテックから、新型のRCAプラグが登場。切削加工を使わない構造を特徴としているが、ホット、コールド導体は純銅材を成形、ケーブル接続部まで一体構造とし、中空ホットピン内部に特殊樹脂を充填、制振性と電気的に迷走電流の発生を抑えている。ワイヤーは無ハンダネジ止め固定方式。RCAジャックとの装着には、ステンレスワ

イヤールと特殊制振POM樹脂を採用した素材によるロッキング構造を採用。制振樹脂を精密成形したボディ部、ケースは非磁性ステンレスとなっている。

テストしたのはロジウムメッキのタイプ。端子への接続性は極めてスムーズでロッキングの操作性も良くできています。最高の真価が発揮されるには多少時間がかかる印象ですが、キヤラクターが極めて少なく、ニュートラルで高SN比、なめらかで帯域が広く硬質感がない。素直で解像度、クオリティの高い性能を備えている。数あるRCAプラグの中でも質感の豊かさが特徴的である。

■Yラグ「FT-211」
高解像度調が特徴のロジウム
金メッキは厚く柔らかな傾向

切り売りスピーカーケーブルは端未処理をして使う方が性能はさらに安定強化され有利であり、さらに輝く性能を得ることも可能だ。ただ、これには端子の性能が重要な条件である。FT-211は比較的手頃な価格の新製品。

ロジウムメッキのタイプは、透明度の高い高解像度調を基調とし、輪郭を明確に描きコントラストが高く、ロジウム系の中では密度が高く硬質感がなく質感の安定した



レポート：
福田雅光
Masamitsu Fukuda

Photo by 田代法生



FURUTECH FT-111

G=¥9,240 / R=¥9,975(ともに4個セット)

●導体(HOT、COLDともに)：非磁性24K金メッキまたはロジウムメッキの純銅素材(一体型) ●ロッキングコレクト部：ハイブリッド素材(ステンレスワイヤーと特殊制振POM樹脂) ●ハウジング：非磁性ステンレス ●ボディ部絶縁体：特殊制振POM樹脂 ●ネジ止めによる結線 ●ワイヤー絶縁適応径：~10mm



「FT-111」の内部構造。ケーブル接続部まで純銅の一体構造。無ハンダネジ止め固定方式を採用



FURUTECH FT-211(G)(R)/FT-212(G)(R)

Yラグ(211)：G=¥10,290、R=¥12,600

バナナ(212)：G=¥12,180、R=¥14,700

「アクセサリー銘機賞2013」【ケーブルパーツ部門】金賞受賞

●導体：24K金メッキまたはロジウムメッキの純銅素材 ●ハウジング：ナイロン/グラスファイバー+ナノ単位のセラミックパウダーとカーボンパウダー仕上げ ●ボディ部絶縁体：高鋼性POM樹脂成型 ●ネジ止めによる結線 ●取り付け最大ワイヤー径：Yラグ=4.5mm / バナナ=4.3mm ●ワイヤー絶縁適応径：7.8mm ●エンドリング：ステンレス

■バナナプラグ「FT-212」 ロジウムは透明度を高め 肉厚の質感を生む金メッキ

シンプルながらも実は高性能を得るにはハードルの高いのがバナナプラグである。FT-212は、特殊精密樹脂ボディを採用、3分割構造の接続端子が内部のピンで開くロック機構でしっかり固定される。ロジウムメッキタイプは、透明度の高い音質で低域、中低域を厚く深く構成して比較的重心の低いバランスに特色がある。低音楽器の豊かな質感表現、ボーカル帯域の厚くクオリティの高い音質が魅力だ。金メッキタイプは、なめらかで柔らかな傾向のある肉厚で質の高い音質である。(A147号)